研究助成の概要.Ⅴ

① パーマネント ID による道路データと各種データを連携させた日本全国の道路データセットの開発
② 学校法人五島育英会 東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科
③ 教授　秋山 祐樹
④ https://akiyama-lab.jp/yuki/

1. 研究分野及び題目

（Ⅱ－２）データ作成方法に関する研究　　（Ⅱ－５）利活用に関する研究
（Ⅱ－６）新しい概念や形態に関する研究　　（Ⅱ－９）その他、デジタル道路地図に関する研究

2. キーワード

データセット、狭隘道路、機械学習、都市計画、自治体

3. 研究内容

(1) 研究の目的

これまで都市計画において、道路に関する情報は重要な要素であるものの、他の統計や空間情報と容易に組み合わせることができる利便性の高い道路データは十分に整備されていなかった。そこで本研究では、DRM-DB のパーマネント ID（以下「P-ID」）と、国土交通省が進める Plateau の建物データを連携するとともに、網羅的な道路メッシュデータを統合することで、利便性と汎用性に優れた新たな道路データセットの全国整備を目的とする。

(2) 研究のゴール

応募者らは昨年度から日本全国の道路メッシュデータを構築してきたが（図 1)、今年度はそれをさらに発展させる。具体的には P-ID を活用して、複数時点の道路本数や狭隘度の変化をメッシュ単位で追跡可能とする。また建物データとの連携を容易にするデータベースを構築する。さらに本データ昨年度実施した空き家予測マップの予測精度向上に用いるなど本データを活用したユースケースを検討することを研究のゴールとする。

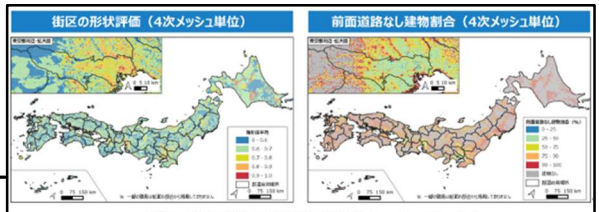
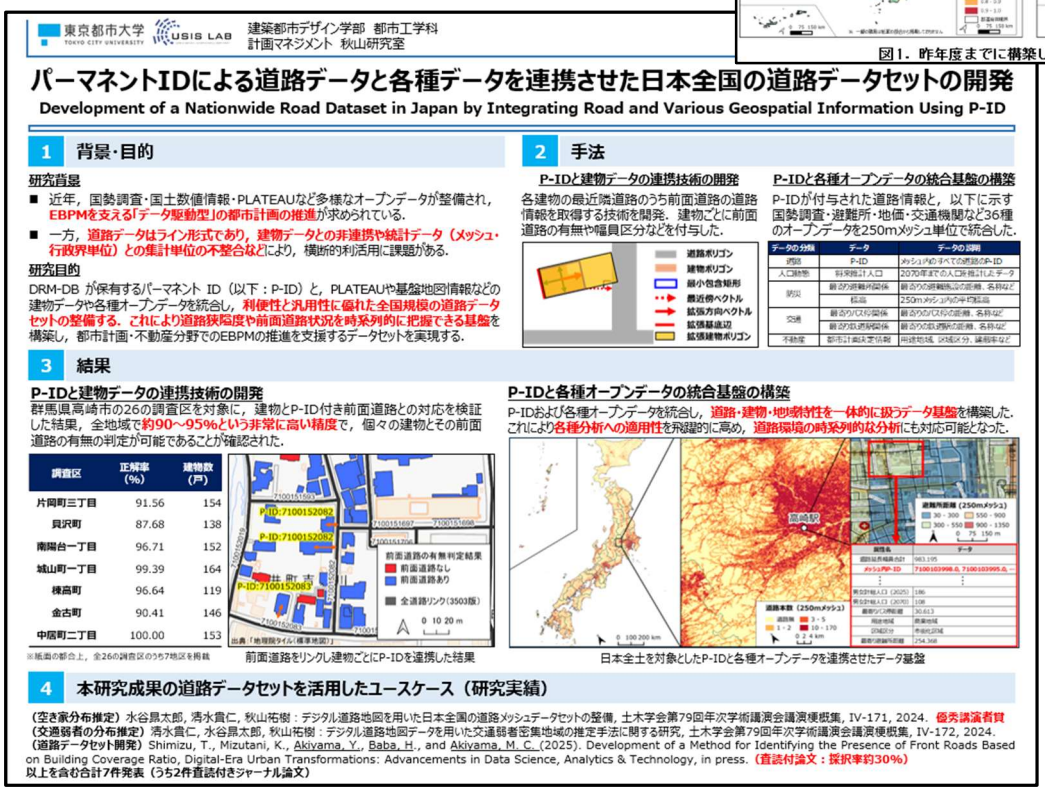
図 1．昨年度までに構築した道路メッシュデータ